



# 黄河の森

## K F G

発行／特定非営利活動法人  
黄河の森緑化ネットワーク  
常務理事・事務局長／矢野正行  
編集責任者／小川良太  
〒650-0011  
神戸市中央区下山手通り2丁目12-11  
神戸華僑会館内  
TEL・FAX:078-392-8328  
E-mail:kouganomori@s6.dion.ne.jp  
URL:<http://www.kobe-chinese.com/kouganomori>  
IP:05031111874



沙障の設置作業



ああ あの大河 太古より 流れる誇り  
ああ その緑 永久に たやさぬ心  
燃えたつ生命 ここに ここに

CONTENTS

- P.2 第15回通常総会の報告
- P.2 事務局長の“独り言”
- P.3 庭木の健康診断19
- P.3 絵本からのメッセージ26
- P.4 中国便り「中学生の息子との日常点描」

# 2018年度 第15回通常総会の報告

5月26日神戸市中央区の中華会館にて第15回総会が開催されました。そこでは昨年度実施した事業結果の報告と、18年度の事業・会計計画が事務局より提案され共に承認されました。

## 昨年の事業結果

内モンゴオトカ前旗第3期事業は昂素鎮フルフカサ村で30haに楊柴・樟条の2種を植えました。これらはより乾燥に強い自生種です。現地は比較的平坦な地形であったため、苗の植え付け作業の一部では機械の利用もできました。しかし、斜面地の植え付け・砂障の設置などの作業には多くの人手が必要としました。(写真)

甘肃省蘭州市では第5期事業として蘭州市西部の高原地帯にベニスナ植樹事業の支援を継続しました。2002年から毎年実施している植樹ツアーには会員17名の参加を得、9月中旬に蘭州市を訪れ地元の方と協働植樹を行いました。また、予定していた蘭州市内の日本語学科専攻の大学生との交流会は、航空機の運航トラブルによる影響で実現できませんでしたが今後も継続します。



3月の植え付け作業

## 18年度事業

オトカ前旗での3期事業を継続します。面積30haに15万本の苗を植える予定です。蘭州市への植樹支援事業・日本語学科の学生との交流も予定しています。国内事業は年3回の住吉台での植樹・地拵え作業・六甲山ハイキング道の清掃事業も実施します。

## 講演会

当会と同じように黄河流域の陝西省で活動を続けておられる、「NPO法人環境保全ネットワーク京都」の理事田中誠司氏・同水田宏樹氏のお二人をお招きし、15年間の活動経験と成果についてお話をいただきました。“生育調査・環境教育・交流”を方針として取り組まれた結果、1000haに200万本の植樹を実現された。現地の小学校では環境教育を実施。活動結果の「自己評価検証」等にも取り組まれておられる。

植樹では環境保全のテーマだけでは限界があり経済樹木の採用も考え、小学校に杏を植えその売却益を学校運営資金とする取り組みも紹介された。

最後に経済大国となった中国への今後の援助形態としては、「ツアーによる植樹後の管理」・「交流活動」・「中国の自然見学ツアー」等による間接援助の方法の考えを示された。

## 事務局長の“独り言” —西日本大水害は異常気象か—

事務局長 矢野 正行

今年の梅雨は気象台始まって以来の大雨が降り、またその後には大変な高温の日々が続き、熱中症による死者も多く出ている。我々の子供の頃、約60年以上前には、こんなことは無かったように記憶している。6月18日、朝7時58分に起こった大阪府北部大地震、それから2週後の7月6日・7日の西日本を襲った大雨。生々しく記憶に残っている。

地球温暖化による異常気象なのか、たまたま地球が高温期に入った結果なのかははっきりしていない。米国や中国では異常気象ではないと言う考えのもと、企業活動優先の考え方を取っている。しかし、昨今の台風・ハリケーンの巨大化、冬場の異常降雪、夏場の異常降雨、異常高温を考えれば、官民一体で地球温暖化防止対策を実施する必要があることは明白である。

市民一人ひとりの努力ではどうする事も出来ない事も多いのではあるが、世界や日本では市民レベルの活動こそが企業を動かし、国をも動かす力になると認識されている。そこで身近で簡単に我々に出来る努力を考えると

- ①必要のないときは早寝早起きをして、電気等の無駄なエネルギー消費を抑える。
- ②暴飲・暴食を控え、適度な運動をして健康を維持し、医療費の削減に協力することで、他に予算を回すことを可能にする。
- ③積極的に植樹やゴミ拾い等のボランティア活動に参加する。
- ④植樹活動などを通して、温暖化防止活動を行っている団体に支援をするなどがある。

このような一人ひとり出来る事から始めれば、何もしないよりは良い方向を向くのではと考えている。産業革命以来、何百年もの付けが回って来ているとすれば、すぐにも努力を始めなければ温暖化は待ってくれない。水と食料の不足が既に始まっているように思われる。

我々の法人活動も15年を迎え節目の時期となった。さらなる活動をと考えているところに、「日中交流基金」から通知文が送られてきた。それによると今年は継続事業の交付要望は受け付けるが、新規事業の採択は打ち切るとのことであった。オトカ前旗の3期事業は継続中であるので、今年の支援要望には応募する予定である。しかし同基金の資金は当法人の大きな柱であったため、今後の事業計画に大きな影響が出る。

これからも会員の皆さんの知恵を集めて新たな展開を考えたい。

私と環境(28)

# 庭木の健康診断 ⑬

## 庭木の手入れ あじさい類

樹木環境研究会「ミルフィーユの会」

天野孝之

アジサイは、ユキノシタ科アジサイ属に含まれる樹木です。交配が比較的簡単のため多くの品種が作り出されています。特にヨーロッパで品種改良された大型のアジサイが日本に輸入され、ハイドランジア (Hydrangea) というアジサイの属名をもって出回っています。雨の降るうっとうしい梅雨時に、美しく咲く花として親しまれています。日本の山地に自生しているヤマアジサイやガクアジサイは、花序の中心部分には小さな両性花が集まって付き、その周囲に装飾花が取り囲みます。装飾花の萼弁は花弁状でよく目立ち、本当の花弁は退化して目立ちません。装飾花がなく、すべて両性花のコアジサイが山地の伐採跡や林道沿いの明るい場所でよく見られます。

庭に植えると、高さ1-2mに育ちますが、枝葉が広がるためかなりの面積を占めます。朝日が当たり、西日が当たらないようなところを好みます。直射日光が長い時間当たるような場所では、また乾燥するような土壌では、葉焼けを起こします。葉が大きく、葉からの蒸散が多いので水やりには十分気を付けます。特に鉢植えの株には水切れを起こさないよう注意が必要です。大きくなるを防ぐためには、古い株を株元から切り取り、絶えず更新していきます。

アジサイは、微酸性の土壌を好み、国内の自生地では青色あるいは青紫色の花を咲かせます。土壌を中性か微アルカリ土壌にすると淡紅色や赤色の花を咲かせますが、特にハイドランジアの仲間には、十分反応しないアジサイが増えてきています。

花が終わると、花殻下を2-3節含めて切り取ります。木を小さく育てる場合は、もっと短く4-5節目を切り取ります。葉腋から新芽が左右1芽ずつ出てきます(写真1)。がこれには来年花をつけず、昨年出てきた芽に花芽ができます。10-11月になれば、来年咲く花芽が確認できますので、樹形が見苦しい場合は、花芽を確認しながら剪定を行います。

増やすのには、春または夏に挿し木を行います。比較的簡単にできますが、さし穂を調整した後、1時間ほど十分に水揚げを行ってから、湿らした鹿沼土か赤玉土にさします。

病虫害は比較的少ないですが、白紋羽病(写真2)にかかることがあります。土壌伝染性の病害で根系が腐朽し、株が腐り枯れてしまいます。枯れた後にアジサイに限らず他の植物を植えこんでも同じ病害に侵されますので、いったん土壌消毒を行ってから植え付けてください。また葉にはよく炭疽病

(写真3)が出て見苦しくなります。がこれによって株が枯れてしまうことはありません。気になる場合は発病初期にGFベンレート水和剤2000倍液を数回散布してください。



写真1 剪定後、脇芽が大きく育ち始めた。



写真2 株に発生した白紋羽病



写真3 葉の表面に発生した炭疽病

\*\*\*\*\*

### 絵本からの メッセージ 26

## 「わたしのワンピース」

畑中弘子 (児童文学者)



絵と文：にしまき かよこ (こぐま社)

「わたしのワンピース」は、空から白い布が落ちてきたところから始まります。白うさぎが驚いてみえています。白うさぎはその布で真っ白なワンピースを作りました。ページをめくるごとに、目が覚めるような色使いと、リズムカルな言葉が続いていきます。「ラララン ロロロン わたしににあうかしら」

白うさぎは出来たての白いワンピースを着て外に飛び出します。お花畑を通ると、「あれっ ワンピースが はなもようになった」。雨が降ると水玉模様に、草のあのいい匂いのする原っぱに出ると、草のあの模様になりました。「あらら ことりが くさのみ たべにきた」 「あらっ ワンピースが ことりのもようになった」次々、まわりの景色とワンピースの模様が変わって、読者はどこに散歩に行くのかしら？ どんな模様にかわるのかしら？ とウキウキしながら読んでいきます。

1969年刊行以来、子どもたちから圧倒的に支持され、今なお大人気の絵本です。シンプルな絵と文はリズムカルで楽しく、日本のファンタジー絵本を代表する素敵な一冊です。

**中国  
便り**

**中学生の息子との日常点描**

楊 玉 麗  
(中国 銀川市在住)

私の息子は中学校(初級)に進学しました。大きく成長しました。彼には彼なりのこだわりがあります。そして最近私のいうことは聞きません。そのためトラブルが良く起こります。昨日起こった息子とのトラブルの一つを紹介しましょう。同じようなことは日本の中学生にも良く見られることではないでしょうか。

息子はせきも慌てもしませんし、私はそれに合わせていました。彼の髪の毛は長くなっていましたが、本人は全然長くないと言い張りました、また学校の先生も何も言わないと主張します。私は担任の任梁先生が丸刈りを指示しておられることを、心の中では大変好いことだと思っていました。

昨日の昼休み息子はいつものように帰宅し、食後の昼寝をしていました。約30分ほどしてから彼を起こしました。彼は起きると慌てもせずゆっくりと台所に向い、卵の煮込みを取り出し、つまみ食いをしながら愚痴を言い始めました。そして服を着て出かける間際になって突然言い出しました。「お母さん、散髪をしてほしい。お昼に先生が髪を切ってこなかったら、午後は先生が丸刈りにすると言った。」これを聞いて私は大変うれしくなりました。

しかし、時間がないので慌ただしくなります。というのも、いつもなら息子の登校する時間だからです。急いで電動バリカンを取り出し、理髪用のカバーを着せ早速髪を切り始めました。手早くしているにも係わらず息子は「作業が遅いよ、もっと早くかっこよく切ることができないの」と言いました。私は「時間がないのだから。遅刻をするわよ」と言いました。息子はひっきりなしに「もう少し長く、少しは長く」と話しかけます。私は「十分長いよ。随分と長いわよ。」と言いました。私は急に焦りを覚え、バリカンを深く刈った

り浅く刈ったりしてしまって、水平に正しく刈ることができなくなり、ただ長い髪を振り分けることしかできなくなりました。そして時間が無くなり細かく仕上げるができなくなりました。5分間ほど髪を切っただけで終わりました。私は頭いっぱい到大汗をかきました。息子は「お母さん、前・後・横の写真を撮って、もう出かけてもいい？。時間がないよ」といいました。カシャカシャと写真を撮って、3枚の写真を彼に見せました。それを見て「嘘でしょう。」と息子は満足そうな表情を見せたので私は安心しました。「早く行きなさい。遅刻するよ。」と息子を急かしました。「頭を洗わなくちゃ。」と息子が言ったので、「夜に洗えば。」と私は言いました。「駄目だよ。毛が首に刺さるよ。」と息子。そこで私は首の毛を払い落としました。こうなれば息子は自分で洗う他がありません。カチャカチャと洗面所の蛇口を開け自分で洗い始めました。仕方がありません、私は家の戸口に立ち、内心で彼が遅刻をしないようにするにはどうすればよいかを考えていました。「お母さん、ドライヤーを当てて。」とこの状況(遅刻をするような)の中でも言っています。私は息子のところに走って行き、外側が厚くなっているドライヤーを当てました。「お母さん、

もっと丁寧に当ててよ。」息子は不満そうに言いました。私は「時間がないよ。すぐに走って登校しなさい。」と言いました。息子は眼鏡をかけ、しげしげと頭髪を点検していました。そして時間を聞いたので「いつもより20分も遅いよ。」と答えました。彼は慌てて制服を取り外へと走り出しました。私は戸口で「午後の道路は混雑をしているから、渡るときはゆっくりと気を付けて。」と叫びました。

私は内心密かに担任の先生に指摘され今日の散髪は不合格になることを望んでいました。もし、息子が嫌も応もなく先生がはっきりと丸刈りにするように言ってくれれば、夜にもう一度先生に代わって散髪をし直すことができるからです。

息子は夜帰宅してから「今日は遅刻はしなかったよ。大急ぎで走って行ったから。それから散髪は不合格になったよ。先生はもう一度散髪するようにと。」私は担任の先生に感謝しました。そして半日に2回も散髪をすることになりました。

実をいうと息子はこの半年間私には散髪をさせず、毎回理髪店に行っていました。しかし意外にも今回の午後の登校の際には遅刻をしていませんでした。普段は早めに登校していたのです。これからは20分も多く昼寝をすることができるでしょう。

**六甲山クローン&クローン活動**

六甲山植樹 (下草刈り)  
- 15期植樹活動 -

- 開催日時 平成30年9月8日(土)  
※雨天中止  
下草刈り作業(雑草抜き・手鎌による刈り取り)
- 集 合 JR住吉駅南広場  
(午前9時)
- 服 装 長袖、帽子、運動靴
- 持 参 品 弁当、飲み水、軍手、  
雨具、タオル

参加できる方は事務局まで  
お知らせください!!

**2018年度**

**秋期ツアー参加者募集!!**

今回の旅行は中国東北地方です。旅行期間は9月11日(火)~16日(日)の5泊6日です。

参加をご希望される方は早めに、下記までご連絡をお願いいたします。

日程 2018年9月11日(火)~16日(日)  
<5泊6日>

行程 関西空港→哈爾濱→長春→瀋陽→大連→  
関西空港 (移動は中国版新幹線を利用)

旅費 169,000円/1名  
(各地空港施設使用料及び燃油サーチャージを含みます。)

問い合わせ先 (株)華聯旅行社 TEL.078-391-5185

\*\*\*\*\*

**会費・緑化支援金等協力者のお名前 (2018.1.1~2018.6.30現在)**

- |      |      |       |      |      |      |      |
|------|------|-------|------|------|------|------|
| 中谷安廣 | 矢野正行 | 稲木 稔  | 村井隆行 | 谷川清隆 | 李 雲精 | 中華会館 |
| 林 同福 | 魏 浩順 | 平野 勲  | 村井美紅 | 王 華銀 | 安本昭久 | 三江会館 |
| 陳 明德 | 石 玉球 | 蔣 政茂  | 李家昌  | 一木 仁 | 大谷晃一 |      |
| 馬 文璧 | 吉川和正 | 篠原久美子 | 半田憲治 | 黄 禹生 | 佐藤正子 |      |

- 前号で掲載できなかった会員も含まれています。
- 順不同・敬称略

